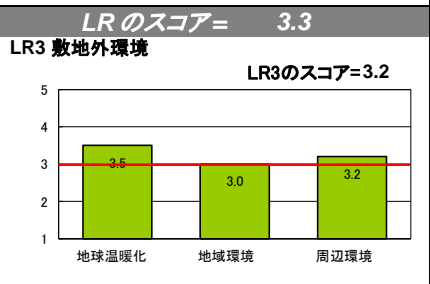
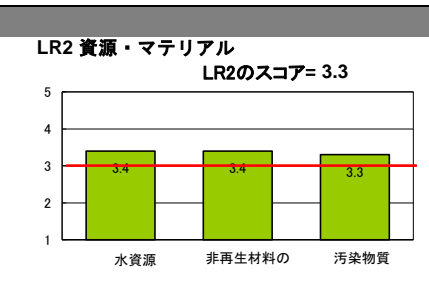
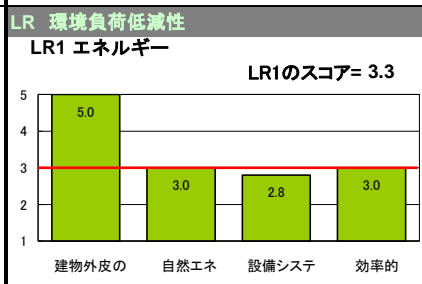
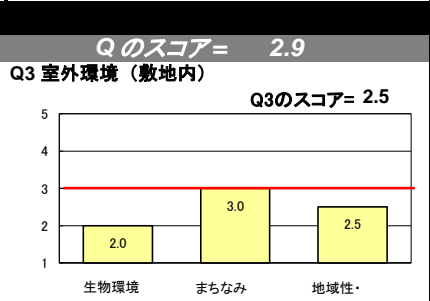
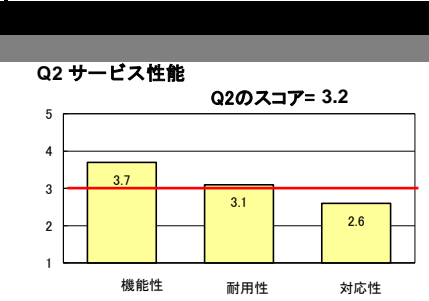
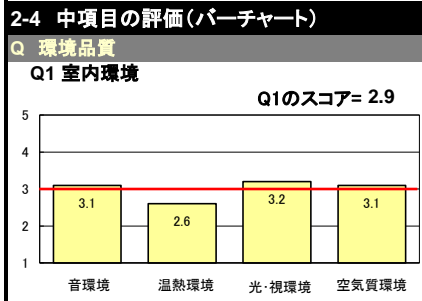
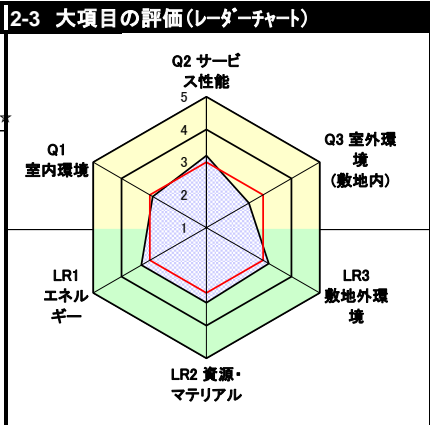
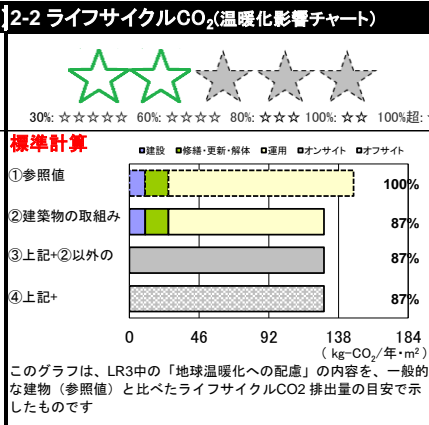
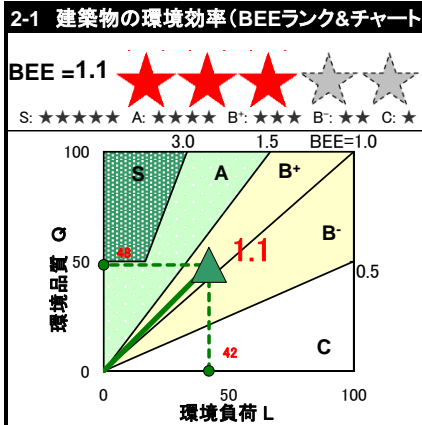


| 1-1 建物概要 | |
|----------|------------------------|
| 建物名称 | (仮称)逗子市沼間PJ新築工事 |
| 建設地 | 神奈川県逗子市沼間二丁目1444-96、97 |
| 用途地域 | 第1種低層住居専用、第1種住居 |
| 地域区分 | 6地域 |
| 建物用途 | 病院 |
| 竣工年 | 2020年3月 予定 |
| 敷地面積 | 2,617 m ² |
| 建築面積 | 1,164 m ² |
| 延床面積 | 2,729 m ² |

| | |
|--------|-----------------|
| 階数 | 地上3F |
| 構造 | S造 |
| 平均居住人員 | 85 人 |
| 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 評価の実施日 | 2020年2月27日 |
| 作成者 | 大和ハウス工業株式会社 |
| 確認日 | 2020年2月27日 |
| 確認者 | 大和ハウス工業株式会社 |



| 3 設計上の配慮事項 | |
|---|---|
| 総合 | その他 |
| <p>Q1 室内環境 屋光率を高めに設定し、また、ブラインドや庇を採用するなど光・視環境に配慮している。</p> | <p>Q2 サービス性能 内外装共防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。 補修必要間隔の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。</p> |
| <p>Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。</p> | <p>LR1 エネルギー LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。</p> |
| <p>LR2 資源・マテリアル 自動水栓や省水型機器を用いるなど水資源を保護している。 ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。</p> | <p>LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。 適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮している。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される